

めだかの学校だより

発行：おもしろ人立めだかの学校

住所：引佐町奥山737-286

物心ついた時、私の心中で、皆さんの為に生きなさい」という声が聞こえ、何をしたら分からず、あちらこちらでぶつかったり、つまずいたり、おしきせがましく、前のみでいろいろな事をやつてきました。心で奉仕をと叫んでもカラ回りすることだけで、振り返ると風車に向かつて、正義の為だと突撃していくドンキホーテの姿が私そのものでした。この経験があつたからこそ、体感した現在の心境は身体の力を全部抜いて考えも思いも捨て、目の前の人によかれと感じ、
する。

身体の力をぬき、楽しい日々を重ねましょう。

第6回めだかの学校校長

浅野 信子



この事だけを日々繰り返していき、物事をできるだけ単純に、その事は今必要かだけを選択する。又、心の中をシンプルにし力を抜き、生かされ、動かされている事を意識しながら解らない事は考えず思いわずられず息をしている毎日なのです。

人間は自分自身「私の目、私の耳、私の足、私の心等」と、心の奥底では自分は別の心であることを知っているのです。

私は幸せにも、サイババの自宅に招かれ、お言葉をいただき、写真もいただきました。

サイババは我的有る無しで、人間を選択しています。でもそこに集まつた全ての人に物と人とをセッティングし愛のプレゼントをくださいます。全ての人が本当に幸せになつて日本に帰つてこれました。

心を静かにして、その感覚（真の心）と対話し、その声に耳を傾け、その心が本当の自分のものなどと、いろんな事を体感する事で、本当の幸せを自分のものにする事ではないでしょうか。

私という身体の宇宙の中を何億という細胞が私という意識（真の心）の為に黙々と働きだまつて死んでいってくれます。

私達が生かされているこの宇宙の中で、私が私がと我欲で自分勝手に動き回っている人間はまるでガン細胞みたいな物ではないでしょうか。では、どの様に生きたらいいの。
一人、一人が心に小さな灯をともします。

私の心に、皆さんのが愛をいただき本当に感謝で幸せな日々です。

皆様も是非、幸せの中で生きてゆきましょう。

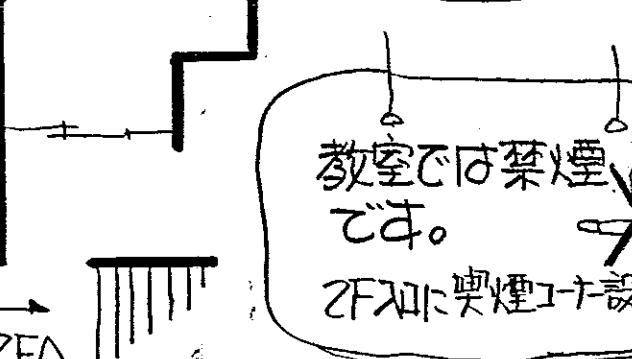
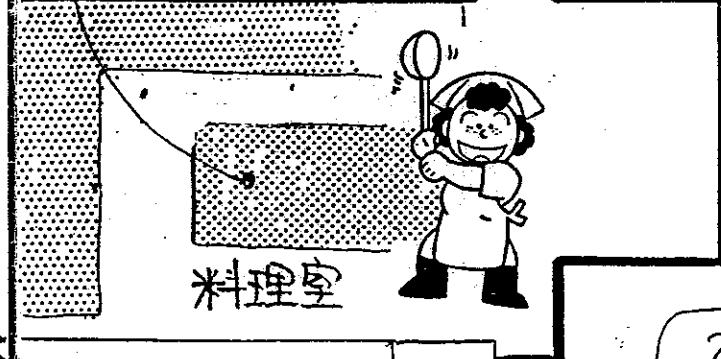
7月のインドの聖者といわれるサイババの所に行つてきました。

文化祭(学校祭)・遠足等を計画したら……

皆さんの話の中から、文化祭をやつたらどうですか?と言う意見がありました。各自の発表の場として是非年に一度は……。
遠足いいですねー。春と秋くらいにー。
生徒の皆さんがあざわらうと言おうとしたうどうでしょうか?

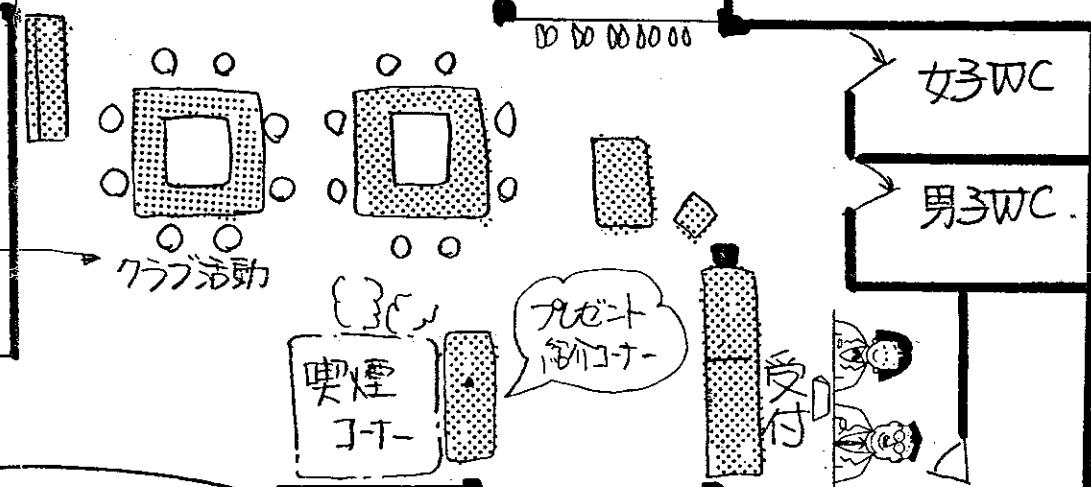
給食係たりどよしが足ません
給食室への運搬とかタスクは
皆さんで!!

一泊まる人のみー¹
入浴時間
女性 PM 10:45~11:30
男性 PM 11:30~12:30
それ以外は自由



*ビル等勝手に音楽をかい

00000000



一を提供してくれま
かあれを言いたくて
コーナーを設けます。

入学申し込み書がまだ
全員提出されてません
12/2日には必ず提出して下さい。

出席できない方は、郵送で……

★生徒諸君、よく目を通すように!!

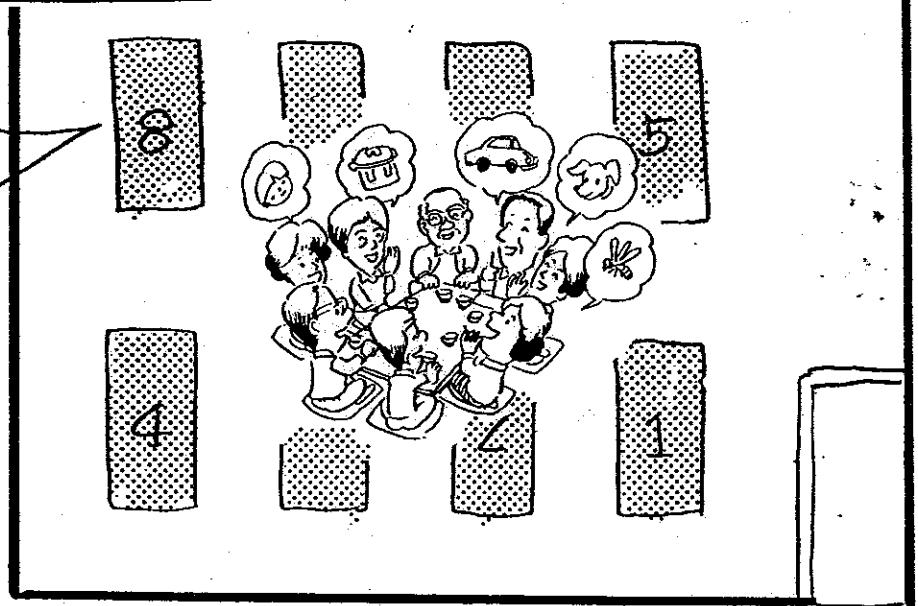
(2)

○給食の席は決っていきます。

もう何回も出席しているのにまだ話をした事がない、名前も知らない人もいますので、今回は皆さんと話せるようテーブルごとに座長を決め進行します。

テーブルの飲み物、料理は他の机に移動しないで下さい。

※放課後の酒代は、有料ですが勝手に持ち出し禁止です。



○情報コーナーを設置!!

皆さんか、主催及び参加イベントなど、その案内やチラシ等を掲示・配布出来るコーナーを設けました。盛りたくさん情報を持って来て下さい。

生徒の情報板

○クラブ活動をやってみます。

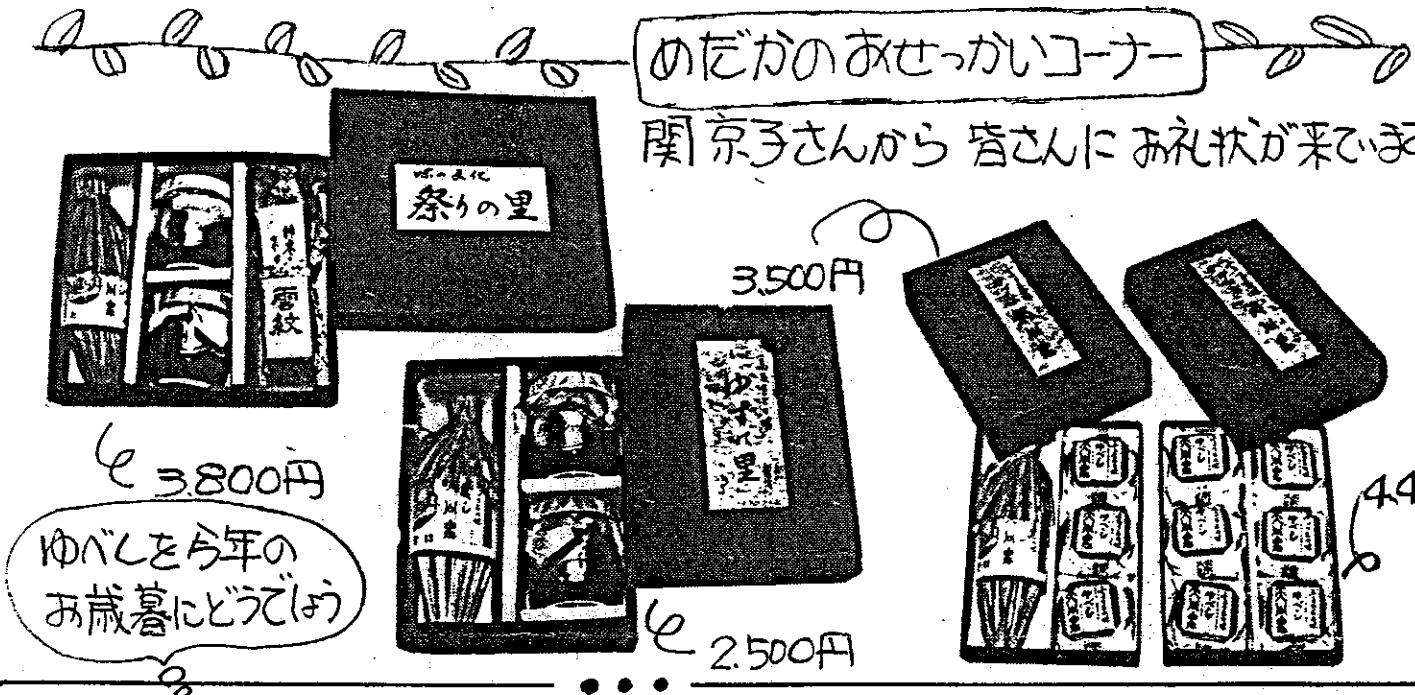
フロアの一角落にクラブ活動の場を設けました。手軽に手作り作品作りに参加出来るコーナーです。今回は細江のかみちゃんが石の工芸をやってみたい限定30人分用意しておきます。

酒を飲んで事故を起したら即退学となります

○プレゼントコーナーを設置!!

今まで、数々の人がプレゼントをしましたが、誰が持つて来てくれたのかおも言えませんでしたので、そのコーナー

酒を飲んだら運転しない



第6回めだかの学校 12月2日(金)

会場：いなさ自然休養村「つみくさ」

■校長 浅野 信子 (気孔、喫茶ブティック アーサー)

教頭 石野 省三 (西気賀小学校教頭)

用務員 榊原 淑友 (JA遠州中央総合企画室)

受付 松下 恭子・鈴木 大介

●社会科先生 滝川 徹 (毎日新聞浜松支局長)

”取材の裏話”

●家庭科先生 今村 純子 (コンフォート・ライト・クリエーター)

”台所から見た経済学”

●道徳先生 宮近 勝 (浜名湖活魚センター)

”地域と共に生きる仕事”

当日、駐車場から玄関まで
紅唐松さんの“光の道案内”
で生徒の皆さんを迎えます。

6:00	6:20	6:30	6:45	7:15	7:45	8:15	8:30	9:30	10:00	10:15	
受付	予約 登録	校歌 有唱	新入生 紹介	1時限目 社会科 滝川先生 取材の裏話	2時限目 家庭科 今村先生 台所から見た 経済学	3時限目 道徳 宮近先生 地域と共に 生きる仕事	質問の時間	校長訓説	給食 座長を中心 としてー。 (自己紹介から)	かたづけ金算定 自由交歓 席を離れて もOK。	酒会 茶会 クラブ活動 他